

FRIENDLY

FRIENDLY REPORT

第60期 報告書

平成25年4月1日→平成26年3月31日



株式会社フレンドリー

証券コード：8209



「経営構造改革」の成果である
体質改善を活かすべく、
既存店の集客力の回復により
収益改善を図ります。

代表取締役社長

中井 豊人

当社は創立以来、関西を中心に、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめとして数々の業態を展開し、多くのお客様に食の楽しみを提供してまいりました。家庭とは違う空間で、豊かな食文化を提供し、お客様の日々の暮らしをより豊かにする—それこそが当社の社会的使命だと考えております。これからも当社は、毎日お迎えする数多くのお客様の喜びの輪をさらに大きなものへと広げてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第60期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の営業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策や金融政策の効果に対する期待感から、円安・株高を背景に企業収益や個人消費に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあります。その一方で消費税増税、節約志向による消費低迷の懸念、海外景気の下振れリスクの懸念など、先行きは、依然として不透明な情勢であります。

当外食業界は、個人消費に回復の兆しは見られるものの、原材料価格の高騰、低価格競争、異業種との競争

などもあり厳しい状況でありました。

このような環境のもと、当社におきましては黒字体質への転換を早期に果たすべく、平成22年10月に策定した「経営構造改革計画」を着実に実行してまいりました。「店舗数の拡大による規模の効果を求める経営から、利益率や各店舗ごとの採算性を重視する経営スタイルへの転換」「CS活動を軸にした企業風土の改革」を基本方針とし、具体的施策として、①業態ポートフォリオの見直し、②新業態の実験と展開、③オペレーションの改善、④CS活動への取組み、⑤不採算店舗の閉鎖、等に取り組んでまいりました。また現在、経費削減施策（原価率改善、人件費率改善、販売促進費の効率的使用）に加え、新規顧客獲得やリピーター顧客数増加のための売上向上施策への取組みを実施し、効果が表われつつある状況であります。

店舗展開につきましては、「ハッピーコング」2店舗を業態転換いたしました。内1店舗は、新業態「フレッシュフレンドリー」に転換し、残り1店舗は、「源ぺい」に転換しました。一方、「ファミリーレストラン フレンドリー」1店舗を閉店いたしましたので、当期末の店舗数は、前期末比1店舗減少し、96店舗となりました。

業態別には、「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」28店舗、「おいしい・たのしい・こちいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」25店舗、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」17店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」12店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」11店舗、「ハッピーコング」1店舗、「新・酒場 なじみ野」1店

舗、新業態「フレッシュフレンドリー」1店舗となっております。

商品政策につきましては、“健康・安全・おいしさ”の見地から食材を厳選し、お値打ちな商品の提供と同時にライブ感を味わっていただけるように努めました。食の安全・衛生管理につきましては、引続き「フレンドリー品質基準」の構築と衛生管理・検査体制を確立し、厳格に運用しております。

業績につきましては、主に来店客数が計画比未達であったこと、また経費面では、広告宣伝費と電気・ガス料金が計画を上回ったこと、源ぺいを中心に5店舗の内外装工事に修繕費を使用したことにより、黒字化は果たせませんでした。また、資産内容健全化の観点から減損損失を129百万円計上いたしました。

以上の結果、当期の売上高は9,130百万円（前期比348百万円減・3.7%減）、営業損失は326百万円（前年同期は営業損失109百万円）、経常損失は281百万円（前年同期は経常損失77百万円）、当期純損失は410百万円（前年同期は当期純損失225百万円）となりました。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 中井 豊人

当社は、西欧料理主体の「ファミリーレストラン フレンドリー」・「フレッシュ フレンドリー」・「ハッピーコング」、和食主体の「産直鮮魚と寿司・炉端 源пей」、 「団欒れすとらん ボンズ」、都市型居酒屋の「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」、 「新・酒場 なじみ野」、セルフうどん店の「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」の8業態を展開しております。

今後とも、お客様満足度向上のため、品質・価格・サービス等あらゆる面から改善・向上に取り組んでまいります。



「おいしい・たのしい・ここちいい」をテーマに地域に根ざしたカジュアルなファミリーレストランです。お客様の健やかな生活を考えて、バランスのとれたメニューと、こだわりの美味しさを取り揃えてお迎えています。



24 店舗



「ハッピーコング」は、リーズナブルな価格で「豊富な品揃え」「おいしい」「楽しい」ステーキ・ハンバーグ専門店です。すべての鉄板料理でサラダバーが食べ放題となっております。



1 店舗



フレッシュフレンドリー
店仕込みハンバーグと自家製生パスタ

1 店舗

お店で毎日素材から作るハンバーグと生パスタが自慢のお店です。清潔感ある雰囲気ので心地よい時間を過ごしていただけます。近隣の方に愛されるカジュアルなファミリーレストランを目指しています。



※店舗数は、平成26年6月末予定のものです。



旬の魚と寿司・炉端のお店です。厳選された海鮮食材にこだわり、なかでもこだわりの源へい盛はご好評をいただいております。

29 店舗



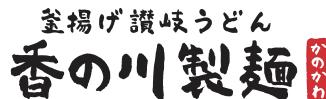
食を通じた団樂とふれあいの絆づくりをテーマにした和食レストラン。新鮮な旬の食材を旨味と持ち味に活かしたメニューには定評があります。

11 店舗



日本の原風景「里山」をテーマにした都市型居酒屋です。どこか懐かしさを感じる店内で、和み料理と味わいの酒を楽しんでいただけます。

12 店舗



厳選した素材とこだわりの製法でつくり上げた風味豊かな自家製麺を、セルフスタイルでお楽しみいただける讃岐うどん専門店です。

17 店舗



「安くて旨い」、「毎日通いたくなる居心地の良い」新時代の「酒場」として、家庭的な雰囲気の中でお手頃価格のお料理をご用意しております。

1 店舗



貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末	前期末
	平成26年3月31日現在	平成25年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	991	1,302
固定資産	4,357	4,527
有形固定資産	2,983	3,040
無形固定資産	43	29
投資その他の資産	1,329	1,458
資産合計	5,348	5,830
(負債の部)		
流動負債	2,802	2,817
固定負債	571	628
負債合計	3,374	3,445
(純資産の部)		
株主資本	2,974	3,365
資本金	3,975	3,975
資本剰余金	3,058	3,058
利益剰余金	△ 4,045	△ 3,656
自己株式	△ 12	△ 11
評価・換算差額等	△ 1,000	△ 980
その他有価証券評価差額金	20	19
土地再評価差額金	△ 1,021	△ 999
純資産合計	1,973	2,384
負債・純資産合計	5,348	5,830

損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで
売上高	9,130	9,478
売上原価	2,657	2,814
売上総利益	6,473	6,664
販売費及び一般管理費	6,799	6,774
営業損失	326	109
営業外収益	160	168
営業外費用	115	135
経常損失	281	77
特別利益	25	8
特別損失	136	125
税引前当期純損失	392	194
法人税、住民税及び事業税	33	33
法人税等調整額	△ 14	△ 2
当期純損失	410	225

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 88	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 51	△ 91
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 318	20
現金及び現金同等物の期首残高	1,133	1,112
現金及び現金同等物の期末残高	815	1,133

期末配当についてのお知らせ

当期の期末配当につきましては、まことに遺憾ながら見送らせていただくことになりました。
何卒ご了承いただけますようお願い申し上げます。

新メニューのお知らせ

選べる「セレクトメニュー」が大好評!



「おいしいたのしいこちいい」をコンセプトに地域に根ざしたファミリーレストランを目指すフレンドリーは、新しいおすすめメニューをラインナップいたしました。

選べて「たのしい」、食べて「おいしい」セレクトメニューが、お客様から大好評をいただいております。セレクトメニューは、①選べるメイン料理、②スープ、③新鮮サラダ、④ドリンクバー、⑤選べるデザートが付いたお得なセットです。“色々食べたい”、“バランスの良い食事をしたい”、“しっかり食べたい”と、ご要望のお客様に満足いただけるセットメニューです。

選べるメイン料理は、フレンドリー自慢のアンガス牛×イベリコ豚の「プレミアムハンバーグ」や人気NO.1の「ハンバーグコンボ」、それにパスタやドリアなど、フレンドリーの人気メニューから、その日の気分に合わせて選んでいただける8品をラインナップしております。

また食後のデザートも「ミニチョコパフェ」、「ミニヨーグルトパフェ」、「抹茶白玉あずき」、「コーヒージェリー」から1品お選びいただけるメニューです。

バラエティ豊かな品揃えと笑顔一杯のサービスで、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



アンガス牛とイベリコ豚の
プレミアムハンバーグ



和牛入りハンバーグコンボ



ホエー豚ベーコンとアスパラの生パスタ

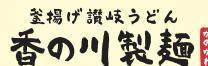
“鮮度アップ”を テーマに産地直送を継続!



昨年の夏から源べい全店では、“鮮度アップ”をテーマに、長崎県佐世保の漁師から直接魚を仕入れ、産直鮮魚を販売し、大好評をいただいております。本年も引き続き産直鮮魚の漁港・魚種を増やし、“魚のおいしい店”源べいとしての評価を高めることを目指しております。

春は店舗の炭焼きかつおを始め、佐世保直送の天然鯛や九十九島はまち、産地直送のほたるいかを全店で販売しております。また源べい5店舗で、石川県金沢中央市場直送の鮮魚の販売も行っており、今後も店舗の拡大と新たな漁港からの産直に注力してまいります。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

香の川製麺 新名物「肉倍盛り肉うどん」登場!



打ちたて、ゆでたての自家製麺が自慢の香の川製麺では新名物の「肉倍盛り肉うどん」(並・500円)を3月より全店で販売を始めました。

今までの肉うどんの2倍の牛バラ肉を店で白だし、特製調味だし、砂糖、隠し味のヨーグルトなどで甘辛く煮込んだ旨味たっぷりの肉うどんです。

発売以来、うどんの売上ではかけうどんを抜いてNO.1となりました。「肉倍盛り肉うどん」のリピーターも多くご来店いただいております。

肉の旨味とボリュームにこだわった「肉倍盛り肉うどん」を食べに、ぜひ香の川製麺をご利用いただきたく、従業員一同、心よりお待ちしております。

会社の概要

(平成26年3月31日現在)

商号	株式会社 フレンドリー
英文商号	FRIENDLY CORPORATION
設立	昭和29年8月9日
資本金	3,975,062,600円
発行済株式総数	14,645,584株
従業員数	202名
本社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	ファミリーレストラン事業

役員

(平成26年6月27日現在)

代表取締役会長	重里 育孝
代表取締役社長	中井 豊人
取締役上席執行役員	三好 秀文
取締役執行役員	和田 高明
常勤監査役	山藤 明
監査役	*大西 耕太郎
監査役	*渋谷 元宏

(注) *印は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 61,800,000株

発行済株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,645,584株
(うち自己株式28,660株)

株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,027名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社さぎな	3,920	26.82
重里育孝	2,009	13.75
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4)	656	4.49
アサヒビール株式会社	500	3.42
株式会社りそな銀行	442	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	255	1.74
みずほ信託銀行株式会社	249	1.70
東京海上日動火災保険株式会社	204	1.40
サントリーピア&スピリッツ株式会社	200	1.37
三菱食品株式会社	142	0.97

(注) 持株比率は、自己株式(28,660株)を控除して計算しております。

●所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
その他、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告
(<http://www.friendly-co.com/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
- お問合せ先 〒168-8507
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
- (電話照会先) 電話 0120-288-324
- 特別口座に関する事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社
みずほ証券株式会社
本店および全国各支店

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。